

第1学年1組 数学科学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日（金）

場所 1年1組教室

1 単元（教材）名 「文字を使った式」（2章 文字の式）

2 本単元（教材）の学習目標

- ・事象の中にある数量を文字を用いて式に表すことができる。
- ・事象の中にある数量の関係を文字を用いて一般的にかつ簡潔に表現し、考えることができる。
- ・ある枚数の画用紙をとめるのに必要なマグネットの個数を求める方法を考えようとしている。

3 本単元（教材）の学習計画（7時間完了）

第1時 数量を文字で表すこと（2時間）（1/2）（本時）

第2時 文字式の表し方（3時間）

第3時 式の値（2時間）

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 本時の教育課題を知る。	・ デジタル教科書 を使って、画用紙、マグネットを見立てた図を使い、操作をしながら変容を確認させる。
	目標：いろいろな数量を、文字を使って表そう	
展開 30分	2 画用紙の枚数を、1枚、2枚、3枚と増やしたときのマグネットの個数がいくつかを考える。 3 画用紙が24枚のときはどうなるかを考える。 4 画用紙が100枚のときの計算式を考える。	・ 画用紙が1枚増えるごとに、マグネットがいくつ増えるかを確認させる。 ・ Googleスライド を使って、考えを記入させる。スライドには、 画面スクリーンショット して、添付させて考えを共有させる。 ・ マグネットを個数を求める式を考えさせる。
まとめ 10分	5 画用紙の枚数を a 枚としたときの、計算式を考える。 6 文字式を使うことの良さをまとめさせる。 7 本日の振り返りを スプレッドシート に入力する。	・ 文字を使うことの有用性を感じさせる。 ・ 多くの生徒の考えをスライドを通じて確認をさせて、 コメント をさせる。 ・ 本時の振り返りを、入力させる。

5 本時の評価

- ・事象の中にある数量を文字を用いて式に表すことができたか。
- ・ある枚数の画用紙をとめるのに必要なマグネットの個数を求める方法を考えようとしているか。

第1学年2組 社会科学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日(金)

場所 1年2組教室

1 単元(教材)名 「日本列島の誕生と大陸との交流」

2 本単元(教材)の学習目標

- ・ 旧石器時代と縄文時代を比較し、暮らしの変化を考えることができる。

3 本単元(教材)の学習計画(4時間完了)

第1時 旧石器時代と縄文時代の暮らしを知る。

第2時 旧石器時代と縄文時代の暮らしを比較してまとめる。(本時)

第3時 弥生時代の暮らしと邪馬台国について知る。

第4時 大和政権の勢力の広がり方を知る。

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 前時の復習をGoogle formを活用して行う。 2 本時の目標を確認する。	・ Classroomのストリームに目標と流れを掲載しておく。
	目標：旧石器時代と縄文時代を比較し、現代へのつながりをみつけよう。	
展開 30分	3 Canvaを用いて、旧石器時代と縄文時代の暮らしをまとめ、比較をする。 4 現代へのつながりを見つけ、仲間と意見を共有する。	・ Canvaのスライドを使ってまとめを記入させる。 ・ 現代の生活につながってきていることを理解させる。 ・ スライド内で他者参照できるようにしておく。 ・ 仲間のスライドを参考にしても良いことを伝える。また、疑問に思ったことをコメントしたり、仲間に聞いたりするなど、協働活動をするのも良いことを伝える。
まとめ 10分	5 本時の振り返りをスプレッドシートに入力させる。	・ 本時の振り返りを、入力させる。

5 本時の評価

- ・ 資料から、縄文時代の暮らしの様子を読み取ることができたか。
- ・ 旧石器時代と縄文時代を比べ、暮らしの変化を考えることができたか。

第1学年3組 美術科学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日(金)

場所 美術室

1 単元(題材)名 「見つめて、感じて、描いて」

2 本単元(題材)の学習目標

- ・ 形や色彩、明暗、質感などに着目し、特徴、印象、美しさをとらえ、よりよい表現方法を工夫する。
- ・ 身近なものの特徴や美しさなどをもとに、形や色彩、質感の工夫を考え、構想を練る。
- ・ 身近なものの特徴や美しさなどをとらえて表すことに関心をもち、意欲的に取り組む。

3 本単元(題材)の学習計画(9時間完了)

第1時 鉛筆デッサンの基本(3時間)

第2時 水彩画の復習・彩色の基本(1時間)

第3時 本物そっくりに描こう(4時間)

第4時 作品鑑賞・振り返り(1時間)(本時)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 本時の学習目標を知る。	・ これまでの作品を返却し、制作してきたことを思い出させる。
	目標：デッサンの作品を鑑賞しよう。	
展開 30分	2 授業で制作した作品を端末で撮影し、 スライド にまとめる。(個人活動)	・ 作品制作の回数を重ねるごとに、どのように成長したのかを考えさせる。
	3 デッサンの絵画作品を鑑賞する。 Canva に意見を書き込む。 写真のデッサンのメリット、デメリットについて考える。	・ なぜデッサンを行うのか、写真ではダメなのかを問いかける。 ・ Canva にコメントを入力させる。
	4 班で意見を交換し、発表する。	・ どの意見も間違いではないことを説明する。
まとめ 10分	5 本時の振り返り	・ ドキュメント に自分の意見をまとめさせる。

5 本時の評価

- ・ これまでに制作してきた作品を見比べ、振り返ることができたか。【知識・技能】
- ・ 絵画作品を鑑賞し、自分の意見を表すことができたか。【思考・判断・表現】

第2学年1組 数学科学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日(金)

場所 2年1組教室

1 単元(教材)名 「連立方程式の利用」(2章 連立方程式)

2 本単元(教材)の学習目標

- ・連立方程式を活用して、問題を解決する方法について理解することができる。
- ・連立方程式を具体的な場面で活用することができる。
- ・連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。

3 本単元(教材)の学習計画(4時間完了)

第1時 連立方程式の利用(本時)

第2時 連立方程式の利用

第3時 連立方程式の利用

第4時 連立方程式の利用

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 7分	1 1年時の「方程式の利用」で重要だったことを スプレッドシート に入力する。 2 本日のめあてを確認する。	・入力されたことを『 テキストマインニング 』を利用して、視覚化する。
	目標：連立方程式を利用して、問題を解決しよう	
展開 25分	3 記事を提示し、2点シュートと3点シュートを何本決めたかを求め、 Googleスライド に記入する。 4 どうすれば、解を1つにすることができるかを考える。 5 もう1つの条件を知り、問題解決への見通しをもつ。 6 連立方程式を利用して、問題を解く。	・グループで Googleスライド を確認しながら話し合いをさせ、解が複数あることを理解させる。 ・文字が2つある方程式の場合は、条件も2つ必要であることを再確認する。 ・机間指導して、生徒の計算の状況を確認する。
まとめ 13分	7 問題解決の過程を振り返り、もっと調べてみたいことを Googleスライド に入力する。 8 入力をもとに、問題を深める。	・ Googleスライド の中から、 深めたいこと を決定する。 ・周りの生徒と意見交流をさせる。

5 本時の評価

- ・連立方程式を活用して、問題を解決する方法について理解することができたか。
- ・連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたか。

第2学年2組 理科学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日(金)

場所 2年2組教室

1 単元(教材)名 「化学変化と物質の質量」

2 本単元(教材)の学習目標

- ・実験結果から、質量保存の法則について粒子モデルを使ってスライドにまとめる。

3 本単元(教材)の学習計画(7時間完了)

第1時 化学変化の前後の質量(3時間) 本時3/3

第2時 反応する物質の質量の割合(4時間)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 前回の実験結果の確認をする。 2 本時の目標と過程について確認する。	・化学変化の前後の質量に注目させる。
	目標：実験結果から、質量保存の法則について粒子モデルを使ってGoogleスライドにまとめよう。	
展開 30分	3 質量保存の法則について粒子モデルを使ってGoogleスライドにまとめる。	・支援が必要な生徒には、他の生徒のGoogleスライドを他者参照させたり、他者と協働させたりする。 ・気体が発生する化学変化は、密閉容器内であるかないかに注目させる。 ・粒子モデルは、今まで学習したいろいろな化学変化でも良いことを伝える。
まとめ 10分	4 スプレッドシートに、質量保存の法則について「原子」という語句を使ってまとめる。	・化学変化の前後で、原子の種類や数はどうなっているか注目させる。

5 本時の評価

- ・実験結果から、質量保存の法則について粒子モデルを使ってまとめることができたか。【思考・判断・表現】
- ・質量保存の法則について、「原子」という語句を使ってまとめることができたか。【思考・判断・表現】

第2学年3組 保健体育科学習指導案【略案】

日 時 2025年6月6日(金)

場 所 2年3組教室

1 単元(教材)名 健康な生活と病気の予防 「がんの予防」

2 本単元(教材)の学習目標

- ・がんを予防するためにどのようなことが必要か考えることができる。

3 本単元(教材)の学習計画(6時間完了)

第1時 生活習慣病の予防(1時間)

第2時 がんの予防(本時)

第3時 喫煙と健康(1時間)

第4時 飲酒と健康(1時間)

第5時 薬物乱用と健康(1時間)

第6時 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ(1時間)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 本時の学習内容の確認とめあての設定をする。	・がんはどのようなイメージがあるか問いかけ、考えさせる。
	目標：がんを予防するために必要なことを考えよう	
展開 30分	2 教科書の内容を各班で分担し、Googleスライドにまとめる。 (1)個人でまとめる(10分間) (2)同じ内容を調べた生徒同士で情報共有(10分間) 3 自分のまとめた内容を班のメンバーに発表する。	・机間指導で生徒の進捗を確認しながら、支援が必要な生徒に支援を行う。 ・教科書の内容をまとめて時間に余裕がある場合は、ネットで調べた情報を参照先とともに記載させる。 ・同じ内容を調べた生徒同士での情報共有を促す。 ・スライドをまとめる時間を順守させる。
まとめ 10分	4 スプレッドシートに本時の学び・今後活かしたいことを記入する。 5 目標について班のメンバーと意見交換する。	・自分の意見をスプレッドシートに記入させる。 ・生活習慣病の予防での内容を踏まえて記入するように声をかける。 ・他者の意見にも目を向け、評価できるようにする。

5 本時の評価

- ・がんを引き起こす要因と予防の仕方について理解することができたか。【知識・技能】
- ・がんを予防するために何が必要かを意見交換することができたか。

【思考・判断・表現】

第3学年1組 数学科学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日（金）

場所 3年1組教室

- 1 単元（教材）名 「平方根」（2章 平方根）
- 2 本単元（教材）の学習目標
 - ・ 具体的な場面で、真の値と近似値の関係を考えることができる。
 - ・ 平方根の値を近似して小数で表すことができる。
 - ・ 近似値や誤差、有効数字の意味を理解している。
- 3 本単元（教材）の学習計画（5時間完了）
 - 第1時 平方根の意味と表し方を理解する
 - 第2時 平方根の大小比較をする
 - 第3時 平方根の近似値を求める①（本時）
 - 第4時 平方根の近似値を求める②
 - 第5時 単元のまとめと確認

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 10分	1 Google formで $\sqrt{2}$ などの近似値の小数第2位の予想を送信する。 2 クラス全体の予想結果をGoogleスライドで共有し、学習課題を確認する。	・ Google formのURL、操作説明を行う。 ・ Google form集計結果を画面提示、意欲を高める。
目標：平方根の近似値を求める方法を理解しよう。		
展開 30分	3 スプレッドシートに $\sqrt{2}$, $\sqrt{3}$, $\sqrt{5}$, $\sqrt{7}$ などを記録し、近似値を求める。 （計算過程をノートに書きChromebookで撮影し、Googleスライドに貼る。） 4 グループごとにGoogleスライドで「近似値を求めるコツ」をまとめる。 5 興味のある数の平方根（例： $\sqrt{11}$ 、 $\sqrt{20}$ 、 $\sqrt{50}$ など）を自分で選び、同様に近似値を求めて発表用Googleスライドを作成。	・ スプレッドシートの記入方法を指示する。 ・ 記録と撮影のサポート、質問対応を行う。 ・ グループワークを巡回し、助言する。 ・ 選んだ数が適切か確認し、必要に応じて難易度を調整する。
まとめ 5分	6 グループの発表後、全体で「近似値の求め方のポイント」を確認する。 7 授業の振り返りGoogleフォームを記入。	・ 発表を整理しながら板書またはGoogleスライドにまとめる。

5 本時の評価

- ・ 平方根の値を近似して小数で表すことができたか。

第3学年2組 国語科学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日（金）

場所 3年2組教室

1 単元（教材）名 「俳句の可能性」

2 本単元（教材）の学習目標

- ・ 自分の思いや考えが伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作することができる。
- ・ 俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりすることができる。

3 本単元（教材）の学習計画（4時間完了）

第1時 俳句を朗読し、俳句の決まり事や形式を確認する。また、筆者の評価のしかたを捉える。

第2時 本文や教科書P.68「俳句を味わう」から好きな句を選び、観賞文を書く。

第3時 四季折々の写真から俳句を作る。（本時）

第4時 句会を開き、感想を交流する。

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 漢字の小テストに取り組む。 2 本時の活動を確認する。	・ Classroomのストリームに目標と流れを掲載しておく。
	目標：表現を工夫して、俳句を作ろう。	
展開 35分	3 Googleスライドの写真にコメントを入力する。コメントは5音もしくは7音で入力する。 4 コメントを参考に、季語を入れながら俳句を創作する。 5 完成した俳句の中からよいと思うものを一つ選び、Google formで提出する。	・ コメントを「解決済み」にすることがないように、事前に指導をしておく。 ・ ストリームに「歳時記」を掲載し、参考にさせる。
まとめ 5分	6 振り返りをスプレッドシートに入力する。	・ 語句の選び方や表現の仕方において、どのような意図をもってどんな工夫をしたのかを入力させる。

5 本時の評価

- ・ 思いや考えが伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作することができたか。（ワークシート・俳句）

第3学年3組 英語科 学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日(金)

場所 3年3組教室

1 単元(教材)名 「Grammar for Communication 1」

2 本単元(教材)の学習目標

現在完了形や現在完了進行形を用いて、これまでの経験や、過去から現在へとつながる状態や動作を伝えることができる。

3 本単元(教材)の学習計画(7時間完了)

第1時 Part 1 現在完了形(完了用法)

第2時 Part 2 現在完了形(継続用法)

第3時 Read and Think ① 現在完了進行形 part1

第4時 Read and Think ① 現在完了進行形 part2

第5時 Read and Think ② part1

第6時 Read and Think ② part2

第7時 Grammar for Communication(本時)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 5分	1 教科書 Key Sentences を練習する。 2 用法を確認し、教師の質問に答える。	・ペアで取り組ませる。 ・既習疑問文を生徒にたずねる。
	目標：過去から現在へとつながる状態や動作を伝えたり、聞いたりすることができる。	
展開 36分	教科書pp.28-29のA,C,B,Dの対話練習する。 3 デジタル教科書を使って個人練習する。 4 ペアでそれぞれの対話を行う。 5 教科書 p.29 Let's Try! の対話を完成する。 6 教科書 p.29 Let's Try! をペアで行う。 7 ずっと行っていることをペアで話す。 A: I have been ~ ing. B: How long have you been ~ ing?	・教科書pp.28 の A, C, B, D の英語の形と使い方を確認させる。 ・取り組みの様子を見て、ヒントや助言をする。 ・場面を考えながら練習させる。 ・ペアで取り組ませる。
まとめ 4分	8 今日学んだことをペアで伝え合う。	・学んだことをペアで共有させる。

5 本時の評価

- ・現在完了形を使って、過去から現在へとつながる状態や動作を伝えることができたか。
- ・現在完了進行形を使って、過去から現在まで行為が続いていることを伝えることができたか。

5組 国語科学習指導案【略案】

日時 2025年6月6日(金)
場所 5組教室

1 単元(教材)名 「楽しかったことを伝えよう」

2 本単元(教材)の学習目標

- ・楽しかったことをまとめた内容をクラスの人々に伝えることができる。

3 本単元(教材)の学習計画(3時間完了)

- 第1時 タイピング練習や使い方の練習をする
第2時 楽しかったことの内容を集めよう
第3時 楽しかったことを伝えよう(本時)

4 本時の学習計画

	生徒の学習活動	授業者の支援
導入 10分	1 前時の振り返り 2 しりとりをしよう スプレッドシートに記入する。	・言葉のウォーミングアップをさせる。
展開 30分	3 Canvaで掲示物を作る 決まった言葉を必ず入れる。 1年：校外学習 2年：野外教室 3年：修学旅行 共通：自分の名前 活動名 楽しかったこと 4 できた掲示物の作品をみんなで共有する 内容や工夫した点の説明を聞く。	・文字の大きさ、入れる言葉のきまり、枠、画像の確認をする。 ・机間指導で、入力の手助けをする。 ・楽しかったことが伝わるように工夫できるようにアドバイスする。言葉、文字の大きさ、画像など。 ・電子黒板に投影し、発表させる。発表できない生徒には支援する。
まとめ 5分	5 本時の学習を振り返る	・各生徒の頑張りを認める。 次時の予告をする。

5 本時の評価

- ・集めた情報を使って、書きたいこと、伝えたいことを決め、掲示物に表すことができたか。
- ・書き表した文章等を他者と共有し、意見を述べたり、感想を出し合うことができたか。